

令和3年6月7日

出席停止児童生徒への対応について

瀬戸市教育委員会

4月23日のこのコーナーで、「登校できない児童生徒に対しては、5月中旬からオンライン授業を段階的に開始します。濃厚接触者となったり陽性者となったりして出席停止となった場合でも、自宅で学校の授業の様子を視聴できるような体制を整えていきたいと考えています。」とお伝えいたしました。

このことにつきましては、濃厚接触者となったり陽性者となったりしたことが、同じクラスの児童生徒に伝わることを心配される保護者の方もいらっしゃいますので、あくまで「希望制」としていきたいと考えます。現時点で対応可能なオンライン授業については、教室内に固定したタブレットを使って、授業の様子を配信する程度になります。教室と自宅との双方向のやり取りなどは、授業をする教員だけでは対応が難しいため、ご理解いただきたいと思えます。

なお、オンライン授業を希望しない場合も、タブレットを持ち帰ることで以下の学習が可能になります。

- ・ 「ドリルパーク」を使った一人ひとりの学力に合ったドリル学習
- ・ 「NHK for School」を視聴して内容をレポートにまとめる
- ・ 「Keynote」や「Pages」を活用して、学習内容のまとめを作成する

当面はこのような対応も含めて、子どもたちの学びを止めないよう取り組んでまいりたいと考えます。

なお方が一ではありますが、今後一斉休校となった場合に備えて、市内複数のモデル校で「一斉休校時のオンライン授業」について検証しています。あらゆる状況を想定しながら、今後も子どもたちのことを第一に考えてまいりたいと思えますので、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

